

第2学年 組 学級活動（2）指導案

日 時：令和2年6月〇日第〇校時

場 所：2年〇組教室

指導者：担任・歯科衛生士

1. 題材

「前歯のそとがわをきれいにみがくほうほうをみつけよう」
学級活動（2）ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成

2. 題材について

（1）児童の実態

低学年の時期は、乳歯が抜け始める時期で、「歯がぐらぐらするよ。」「大人の歯が生えてきたよ。」と生え変わる自分の歯に興味をもっている児童が多い。しかし、給食後の歯みがきタイムでは、曲に合わせて歯をみがいているが、好き勝手にみがいていたり、歯ブラシの持ち方や力の入れ方が十分に身に付いていなかったりする児童も少なくないことから、丁寧に歯みがきをするという意識は十分に育っているとは言えない。これらのことから、歯に合った正しい歯みがき方を身に付けて、歯みがきを丁寧に行うことが大切であるという意識をもつことができるように指導していきたい。

（2）題材設定の理由

昨年度は親子活動で保護者の協力を得て、歯垢の染出しを行い6歳臼歯のみがき方を学んだ。本題材では、6歳臼歯のみがき方を活かしながら、前歯に合った歯みがき方を身に付ける。前歯の特徴や大切さを理解するとともに、前歯は、三面みがきをするとよいことやそのみがき方を身に付け、正しい歯みがきの習慣化を図っていきたい。

3. 第1学年及び第2学年の評価規準

観 点	よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能	集団の一員としての話し合い活動や実践活動を通じた思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
評 価 規 準	前歯の特徴や大切さを理解し、正しい歯みがき方（三面みがき）を身に付け、実践することができる。	自分の前歯の状態や歯みがきの仕方をふり返り、前歯に歯垢を残さない正しい歯みがき方について考えている。	前歯を大切にして、正しい歯みがき方で歯をみがこうとすることができる。

4. 事前の指導

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
・自分の口の中の様子（虫歯の有無・永久歯の有無等）を、歯科検診の結果や観察を通して知り、歯をきれいにみがく。	・給食後の歯みがきの様子を観察し、児童の実態を把握する。	・自分の歯に興味をもち、正しい歯のみがき方について考えることができる。（思考力・判断力・表現力）

5. 本時のねらい

前歯（永久歯）の役割や特徴を知り、カラーテスターで歯垢を染め出す活動を通して、前歯にあった三面みがきの仕方をしようとする事ができる。

6. 本時の展開

	児童の活動	指導上の留意点		資料	目指す児童の姿と評価方法
		T1 (学級担任)	T2 (歯科衛生士)		
導入 つかむ	1 自分の前歯を観察することを通して、前歯の特徴や役割について知る。	<ul style="list-style-type: none"> 鏡で前歯を観察させ、前歯の特徴を発表させる。 ○のこぎりみたいにぎざぎざしている。 ○他の歯より大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> 前歯の役割（食べ物を噛み切る役割をしている大切な歯）について知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 手鏡 前歯（永久歯）の写真 	<ul style="list-style-type: none"> 前歯の大切さが分かる。（知識・技能）【観察】
展開 さぐる 見つける	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;">前ばの外がわのみがき方を知ろう。</div> 2 カラーテスターで歯垢を染め出し、口の中の汚れ（みがき残し）に気づき、用紙に赤鉛筆で記入する。 3 前歯の外側のみがき方が分かる。（毛先みがき・三面みがき）	<ul style="list-style-type: none"> カラーテスターを配る。 正しく染め出しができていない児童を支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> カラーテスターの仕方を説明する。 歯みがきの様子を4段階（A～D）で評価する。 立体模型を使って、正しいみがき方を知らせる。いつ→食後・寝る前 誰が→本人+仕上げみがき 何のために→大切な歯を守るため どこで→鏡がある所 どうやって→①鉛筆もち ②鏡を見ながら③順番に 1) 前歯の外側の三面みがき 2) 奥歯のかみ合わせ面（30回） 3) 外側（20回） 4) 内側（時間があれば指導） 	<ul style="list-style-type: none"> コップ 歯ブラシ 歯みがきテスト用紙 タオル 手鏡 鉛筆（赤・黒） 歯の立体模型 	<ul style="list-style-type: none"> 前歯の正しいみがき方（三面みがき）を身に付けている。（知識・技能）【観察】
週末 決める	4 口の中を観察し、きれいになったことに気づき、振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> 自分の課題に合った具体的なめあてや実践方法を学習カードに記入するようにする。 何人か発表するなかで、めあての修正や実践の参考になるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 机間指導を行い、必要に応じて、具体性のあるめあてや実践方法が設定できるように助言をする。 	歯みがきテスト用紙	<ul style="list-style-type: none"> 学習したことを生かして、自分に合っためあてをもつ。（知識・技能）【ワークシート】

7. 事後の指導

教科との関連・・・ 道徳 生命の尊さ 「大きくなったね」

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
・ 給食後の歯みがきの際、自分のたてためあてを振り返る。	・ 給食後の歯みがきの際、学んだことを想起できるように声かけをする。	・ 自分の立てためあてに進んで取り組み、正しいみがき方（前歯の三面みがき）をしている。 (態度)【観察】